

第9回 タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 開催結果概要



タンチョウも住めるまちづくりを推進！

【開催概要】

- 開催日時：令和6年2月7日(水) 13:00～14:30
- 開催場所：アスティ45 12階 ACU-A中研修室1206
- 出席者：委員12名 (Web出席含む)



(1) 令和5年度のタンチョウの飛来・繁殖状況について

- 今年度も舞鶴遊水地でタンチョウが繁殖し、幼鳥が1羽育ちました。
- 協議会は、遊水地の一部立入制限や報道発表を行いました。

舞鶴のタンチョウは、遊水地の外も安全だと学習したようだ。農業に被害が及ばないよう必要な追い払いは実施して問題ない。



正富委員



(2) 令和5年度の生息環境専門部会の取組について

- 舞鶴遊水地で植生調査や野生動物調査を行いました。
- 特定外来生物アライグマの捕獲駆除を行いました。



赤坂委員

今後もアライグマの増加が予測される。遊水地への侵入経路である嶮淵右岸樋門で対策をとれないか検討してほしい。

たとえタンチョウ育雛期であっても、監視員を付けた上でオオハンゴンソウの駆除作業を行うなど、むしろ適切な時期に必要な作業を行ってはどうか。

(3) 令和5年度の地域づくり専門部会の取組について

- 企業と連携したバスツアー、ガイド事業を推進しました。
- 取組が映画化され、道内外で公開されています。



瀬川委員

宣伝活動のために、タンチョウを使ったお土産があると良い。



加藤委員

映画化は、取組の注目度を高めるものとなった。



森下委員

商品を増やしていき、ふるさと納税の返礼品にも活用したい。



柴田委員

農産物を通じてブランド力を上げ、売り上げを通じて地域の振興に貢献したい。

【中村座長コメント】

本協議会を千歳川流域を軸とする石狩川流域における取組へ進化するため、タンチョウと地域生活や産業との共存、両立等を目指す自治体が参画できるような組織へ発展的に改組することについて、今回承認が得られた。今後、生物の保全・共生の取組を継続的・発展的に進めていく上で、当該地域の社会経済活動への影響等にも目を向けながら進めていくことが重要。



【長沼町 齋藤町長コメント】

4年目の繁殖、映画も盛況と聞き大変嬉しく思っている。遊水地整備という公共事業から始まった取組が、自然環境の保全、まちづくりの大きな施策になった。今後ともよろしくお願いいたします。



第9回 タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 議事要旨

〔日 時〕：令和6年2月7日（水） 13:00～14:30

〔場 所〕：アスティ 45 12階 ACU-A 中研修室 1206

〔出席者〕：委員 12 名（web 出席含む）

（1）令和5年度のタンチョウの飛来・繁殖状況について

○舞鶴遊水地のタンチョウは、遊水地の外も安全だと学習したようだ。農業に被害が及ばないよう必要な追い払いは実施して問題ない。

（2）令和5年度の生息環境専門部会の取組について

○フトイの減少だけを理由に「タンチョウの営巣適性が低下する」という表現は正しくない。

○令和5年度に捕獲されたアライグマの記録から、遊水地内で少なくとも3頭のメスが出産していた。産まれた幼獣を捕獲しきれていないので今後も個体数が増加する。遊水地への侵入経路である嶮淵右岸樋門で対策をとれないか検討してほしい。

○新型巣箱型わなでのアライグマ捕獲が増えるよう、北海道大学池田教授とも相談して対応してほしい。

○たとえ5～7月のタンチョウの育雛期であっても、監視員をつけた上でオオハングソウの駆除作業を行うなど、むしろ適切な時期に必要な作業を行ってはどうか。

○遊水地北側の樹林化について、将来像を見据えた取組を検討してほしい。

（3）令和5年度の地域づくり専門部会の取組について

○宣伝活動のために、タンチョウを使ったお土産があると良い。

○映画化は、取組の注目度を高めるものとなった。

○アイデアがあれば協力して商品を増やしていき、ふるさと納税の返礼品にも活用できると良い。

○豊かな自然環境でとれた農産物を通じてブランド力を上げたい。米や清酒は評判が良いが、売り上げにはまだ満足していない。農産物の売り上げを通じて地域の振興に貢献できるよう今後も取組を継続したい。

（4）石狩川流域生態系ネットワークの推進について

・事務局より、千歳川流域を軸とする石狩川流域における取組へと進化するために、本協議会をタンチョウと地域生活や産業との共存、両立等を目指す自治体が参画できるような組織へ発展的に改組する提案をし、異議なく承認された。